

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 212 号 2015. 12. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

東中野頒布会で学んだ！

12月13日(日)、東中野会場での頒布会がありました。小雨が降り、寒い日でしたが、会場内は自然農法の作物を求め方にぎわっていました。ダイコン、サトイモ、サツマイモなど旬の野菜や加工品がたくさん、そして生産者の方と来場者との語らいも楽しそうでした。「むせひ屋」がいろいろなイベントに出店したり、フェイスブックで頒布会のお知らせをしていることで、より多くの方が来店されるようになったそうです。定番のおにぎりや味噌汁をいただき、いろいろな野菜の試食も堪能しました。



午後からは「食べ塾」が開催され、遺伝子組み換え作物についていろいろ聞きました。遺伝子組み換え作物は、除草や害虫対策には便利に見えますが、健康被害や生態系のかく乱が問題になっているそうです。また日本は遺伝子組み換え作物を多く輸入していて、それらが加工品や家畜の飼料に使われているため、気づかず口にしているかもしれないのだと知り、本当に安心して食べられる自然農法の作物の重要性を改めて感じました。参加者からは「消費者としても自然農法の応援が必要」「自然農法のことをもっと発信していかなくては」と意見が出ました。(編集部:田村)

楽しくお知らせ♪ ほっと縁市

スタッフ 中村竜児



11月29日に赤羽公園で開催されました「ほっと縁市」に「むせひ屋」として出店いたしました。今回で3回目となります。

販売物としては、堀さんのお米、甘納豆、山本さんの卵、ジョリフィユのクッキー、斉藤さんの芋類、熊本の小麦粉、お茶類の他、金野さんのネギ、小松菜など、高根グループのサツマイモ、渡辺農園の葉物野菜と品数を多くして臨みました。

試食、試飲はキョウイモ、サツマイモ、大根、紅茶、炊飯器で作ったケーキなどを用意しました。特にお子さんたちに好評で、キョウイモを4個も食べた子や、「生なのに美味しい」と言って、生の大根をほおぼる

子など、多くの方に自然農法の野菜の味を体験してもらえました。さらに今回はピン実験の写真などを掲示して、来場者が自由に見られるようにしました。写真を見た方から質問を受けるなど、作物の値段が「高い」と言われてしまった前回と比べ、来場者の方の積極性を感じました。

今回のほっと縁市では、「ほっと縁市大賞」というイベントが新しく行われました。来場者が「安心・安全な商品の販売や環境に配慮した取り組みを行っているお店」に投票し、得票数が最も多かったお店を表彰しようというものでした。むせひ屋としては、今まで通り、無施肥無農薬栽培の素晴らしさを伝えていこうと話し合い、安心安全な作物であること、とにかく一度味を体験してもらいたいと訴え続け、ダントツの1位で見事に大賞を受賞することができました。来場者から「むせひ屋の方が一番楽しそうに話していた」という感想を頂き、スタッフ一同喜び合いました。

以下、主催者の方がフェイスブックに投稿した記事です。

「ほっと縁市大賞なるものを実施しました！ むせひ屋さん、おめでとうございます！ むせひ屋さん

の扱うお野菜は、有機野菜とも違う、農薬はもちろん、肥料も施さない「無施肥無農薬」のお野菜。もっと皆さんに知ってほしいな。私が大事にしたい子育ての考え方と似ている部分がある農法で、これから勉強したいと思っています」

赤羽公園のある北区は、生ごみを利用した循環型農業に取り組んでおり、ほっと縁市の主宰者も、自らオーガニック野菜の店を出店するなど、ほっと縁市は有機栽培を勧める雰囲気イベントでしたが、出店回数を重ねるなかで、来場者の方々の反応から、「無施肥無農薬栽培」という言葉が少しずつ受け入れられてきていると感じました。

ほっと縁市は頒布会や中野自然栽培フェアと異なり、来場者が無施肥無農薬栽培を初めて知る機会となる可能性の高いイベントです。それだけに一味違った出会い、感動を得ることができます。ほっと縁市を通して、無施肥無農薬栽培が大きく広がっていくよう、スタッフ一同さらに向上して次回に臨みたいと思います。



将来を担う食への責任、畑作交流会

普及員 野中康次

11月8日、TOREK 自然農法 畑作生産者交流会が、千葉県八街市の斉藤さんの圃場とお家のスペースをお借りして、開かれました。

目標を、「将来を担う食への責任。生産、消費、流通が共に向上するために、今、我々のできることを考えていこう」として声をかけ、集まりました。

生産に携わっている斉藤さん、金野さん、西山さん、藤原さん、そして販売係の町田さん、藤井さんを交えて、見学と話し合いの時間をもちました。畑や野菜への愛情、想念の話。普及のために、農業資格者と畑の取得を目指して、地域の仲間と協力し合っている話。販売店を作らないかという話。そして、夢ではなく現実に普及する時期、今やらないと体(年齢)がもたない等々、話し合えました。日が暮れ始めながら、西山さんの畑を見学して、人参を育てるひと手間を聞き、喜んでいる参加者もありました。解散後も、金野さんの畑に生産者が見学に行かれたそうです。

今回、千葉県生産者が、TOREK 自然農法普及への熱意を確かめあい、大いに充電しあったように感じます。先輩たちから受け継いだ経験と生産から、消費者への絆が太く、多く広がることに努力していきたいと思っています。



お知らせ

- ★ 自然農法勉強会 1月26日(火) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 1月21日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了

無施肥無農薬栽培物の販売予定

1月1日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ：煎茶・ほうじ茶(ミコハツも有り)
- きじま平自然農産：小豆甘納豆、自然米、納豆、小豆、干し柿
- 中島農園：長ネギ、ジャガイモ、ホウレンソウ、ダイコン、梅干
- 菜園金野：ダイコン、ニンジン、ジャガイモ、長ネギ、サツマイモ
- ジョリフィユ：年賀ギフトセット、かぼちゃのモンブラン、マドレーヌ 他
- 長柄山自然農園：卵、鶏ガラ、燻製卵、温泉卵

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>